

第28期 上半期報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

KDDI 株式会社





代表取締役会長
小野寺 正

代表取締役社長
田中 孝司

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第28期上半期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の事業内容などをご報告するにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

このたびの東日本大震災により、お亡くなりになられた方々に深い哀悼の意をささげるとともに、被災された地域の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、昨年12月1日の新体制発足から約1年が経過いたしました。この間、当社は新たな成長に向けて変革に挑むとともに、震災後、被災地の通信設備の復旧にも全力で取り組み、6月末までにau携帯電話のサービスエリアは、ほぼ復旧いたしました。

今後も、今回の大震災の経験を踏まえ、大規模災害時にも早期復旧が可能な通信インフラ網の構築や、これまで以上に精緻なBCPの策定など、ライフラインを担う通信事業者として果たすべき使命を速やかに推進してまいります。

当上半期における経済の状況ですが、世界経済においては、ソブリン問題が広がっておりグローバルな金融不安に波及する可能性があります。また新興国においても、インフレ懸念から金融引締めが相次ぎ、成長ペースは弱まっております。

こうした状況の中、経済成長の減速傾向が強まり、先行きの不透明感が広がっております。

わが国の経済は、東日本大震災による落ち込みから、毀損したサプライチェーンの復旧や企業・家計のマインド改善により、着実に持ち直しつつありますが、円高の長期化に加え、企業が海外投資を増やすことで産業の空洞化が進み、雇用に影響を与えるなど、景気が下押しされる懸念があります。

電気通信業界においては、移动通信市場では、低廉な料金サービスの提供、スマートフォンを中心とした多種・多様な携帯電話端末、タブレット端末や電子書籍端末、音楽・映像・電子書籍などのコンテンツサービスの提供などを通じ、お客様獲得に向けた競争が一段と激しさを増しております。

一方、固定通信市場では、FTTHサービスを中心としたブロードバンドサービスなどの展開に加え、固定通信と移动通信、あるいは通信と放送の融合が進展しつつあり、サービス競争が新たな局面を迎えております。

このような状況において、当社は、auのモメンタムの回復と固定通信事業における増収増益の確立を最優先に取り組んでおり、その取り組みの一つとして、本年10月14日、au初となる「iPhone 4S」を発売いたしました。「未来は、選べる。」をコンセプトに、Android™搭載のauスマートフォン、Windows® Phoneとともに、皆様にいつでもどこでも快適にお楽しみいただける環境を提供してまいります。

当社は「もっと身近に」「もっとグローバルへ」「もっといろんな価値を」という「3つのコミットメント」の実現に向けて、その中長期戦略である3M戦略およびグローバル戦略を着実に遂行しております。3Mとは、「マルチユース」「マルチネットワーク」「マルチデバイス」の頭文字です。いつでもどこでも最適なネットワークを通じて、スマートフォンやタブレット端末をはじめとする様々なデバイス上で行っているコンテンツやサービスをお客様に提供していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
田中 孝司